

秘

農林水産省

統計法に基づく基幹統計

農業経営統計

農業経営統計調査

2024年 営農類型別経営統計調査票
(個人経営体用)

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

営農類型		番号	
------	--	----	--

- ☆ この調査は、統計法に基づく基幹統計調査です。
- ☆ この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。統計作成以外の目的に使うことはありません。

【記入上の留意事項】

- 2024年1月1日～2024年12月31日の1年間について記入してください。
- 記入に当たっては、同封の「調査票の記入の仕方」を参照してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインを利用される方は、同封の「オンライン利用の手引き」を参照してください。
- 本調査に必要な資料

設問に回答する際は、お手元に次の資料をご用意ください。

○青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）、確定申告書

2025年4月30日までに提出をお願いします。

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

--

【通信欄】 1年の中で、農畜産物の生産や販売で特徴的なできごとがあれば、記入してください。

【はじめに】

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

本調査票への記入に際しては、次の点に留意してください。

- 損益計算書に係る記入欄は、青色申告決算書（農業所得用）の科目と同じ配列となっているため、他の様式から転記する場合は、記入欄の配列が異なりますので、該当する科目の記入欄へ転記してください。
- 営農の状況により、記入する欄が異なる場合があります。

1 調査票の構成

区 分	説 明	回答対象者	ページ
【1】現況	農業従事者の状況や青色申告の申請状況、経営耕地面積など	全ての方に お答えいただく項目です	3
【2】損益計算書	農業の収入や支出の状況		4、5
【3】事業収支の概要	農業以外も含めた全ての事業収支の状況		5
【4】貸借対照表	資産や負債の状況	青色申告を行っている方 又は、年間60日以上自営 農業に従事している65歳 未満の家族がいる方にお 答えいただく項目です	6、7
【5】投資と資金調達の状況	農業に係る投資や資金調達の状況		8
【6】労働の概要	作業に従事した人数や労働時間に係る状況	全ての方に お答えいただく項目です	8、9
【7】生産概況、農畜産物収入	農畜産物の生産概況と販売収入の状況		10～15
【8】農作業受託収入	農作業受託収入の状況		16
【9】制度受取金、積立金等	制度受取金等に係る状況		16、17

2 【4】貸借対照表の転記に際しての留意点

「【4】貸借対照表」（6ページ）は、青色申告決算書の勘定科目から転記可能な様式となっています。

一方で、青色申告であっても、貸借対照表の作成義務のない簡易簿記や現金式簡易簿記の場合、又は収支内訳書（白色申告）の場合には、資産や負債に該当する勘定科目を7ページに記入してください。

【1】現況（全ての方にお答えいただく項目です。）

1-1 現況についてお伺いします。

①	経営主の年齢を記入してください。 (令和6年12月31日時点)		
		歳	
②	認定農業者がいますか。	はい	いいえ
③	経営主を含む家族のうち、年間60日 (480時間)以上自営農業に従事している 65歳未満の方がいますか。	はい	いいえ
④	世帯としての所得は、自営農業と自営 農業以外の所得（年金等は含みませ ん。）のどちらが多いですか。	自営 農業	自営 農業 以外
⑤	青色申告決算書（農業所得用）を利用 していますか。	はい	いいえ

(注)
③の従事した日数については、1日を8時間として換算してください。

1-2 期末（12月31日）時点の土地の状況についてお伺いします。

経営している田～採草放牧地がありますか。

はい → 本年欄に記入してください。 いいえ → 4頁の【2】へお進みください。

土地の状況を記入してください。貸している面積は含みません。

区 分	前 年		本 年	
	経営面積 (a)	うち借入地 (a)	経営面積 ha a	うち借入地 ha a
田				
畑 (樹園地、牧草地を除く。)				
樹 園 地 (茶の植栽面積を含む。)				
牧 草 地				
採草放牧地				

- ・牧草地とは、専ら牧草の栽培を行う耕地をいいます。
- ・採草放牧地とは、自生する野草を飼料用や肥料用に採草したり、放牧に利用する土地をいいます。

【2】 損益計算書（全ての方にお答えいただく項目です。）

農業の収入、経費などについてお伺いします。

青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 2-2へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

2-1 青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）を参照して金額を記入してください。

科 目	青色申告決算書No	収支内訳書No	前 年	本 年						
			金 額 (円)	金 額 (円)						
				億	万	千	百	十	一	
収入	販 売 金 額	①	①							
	家事消費金額・ 事業消費金額	②	②							
	雑 収 入	③	③							
	小 計	④	④							
	農産物の 棚卸高	期 首	⑤	⑤						
		期 末	⑥	⑥						
	収 入 計	⑦	⑦							
経 費	租 税 公 課	⑧	㊦							
	種 苗 費	⑨	㊧							
	素 畜 費	⑩	㊨							
	肥 料 費	⑪	㊩							
	飼 料 費 (注)	⑫	㊰							
	農 具 費	⑬	㊱							
	農薬費・衛生費	⑭	㊲							
	諸 材 料 費	⑮	㊳							
	修 繕 費	⑯	㊴							
	動 力 光 熱 費	⑰	㊵							
	作 業 用 衣 料 費	⑱	㊶							
	農 業 共 済 掛 金	⑲	㊷							
	減 価 償 却 費	⑳	㊸							
	荷 造 運 賃 手 数 料	㉑	㊹							
	雇 人 費	㉒	㊺							
	利 子 割 引 料	㉓	㊻							
	地 代 ・ 賃 借 料	㉔	㊼							
	土 地 改 良 費	㉕	㊽							
		㉖	㊾							
		㉗	㊿							
		㉘	㊿							
		㉙	㊿							
	雑 費	⑳	㊿							
小 計	㉑	—								
農産物の 棚卸高	期 首	㉒	㊿							
	期 末	㉓	㊿							
経費から差し引く果樹・牛馬 等の育成費用	㉔	㊿								
計	㉕	㊿								

(注) 飼料費の計上がある場合は、2-2も必ず回答してください。

SAMPLE

16,17頁へ記入してください。

(任意科目欄)
※科目が一致しない場合、決算書に記載の科目名を記入いただき、金額を記入してください。

2-2 飼料費の金額は、配合飼料価格安定制度の補てん金を控除していますか。

はい

→ 本年金額欄に控除した補てん金額を記入してください。

いいえ

→ 2-3へお進みください。

前年金額 (円)	本年金額 (円)			
	億	万	千	百十

2-3 専従者給与について、青色申告決算書（農業所得用）、収支内訳書（農業所得用）を参照して金額を記入してください。

科 目	青色申告決算書No	収支内訳書No	前 年	本 年			
			金 額 (円)	金 額 (円)			
				億	万	千	百十
専 従 者 給 与	④	⑬					

【3】事業収支の概要（全ての方にお答えいただく項目です。）

事業収入や山林収入等についてお伺いします。

確定申告書第一表、第三表の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい

→ 6頁の【4】へお進みください。

いいえ

→ 本年欄に記入してください。

3-1 事業収入、事業所得についてお伺いします。

申告書第一表を参照して、次の科目の金額を記入してください。

科 目		申告書記号	前 年	本 年			
			金 額 (円)	金 額 (円)			
				億	万	千	百十
収入金額	事業	営 業 等	⑦				
		農 業	①				
	不 動 産	⑤					
所得金額	事業	営 業 等	①				
		農 業	②				
	不 動 産	③					

3-2 1年間のうち、山林の所得がある場合には、申告書第三表（分離課税用）を参照して、次の科目の金額を記入してください。

科 目	申告書記号	前 年	本 年			
		金 額 (円)	金 額 (円)			
			億	万	千	百十
収 入 金 額 (山 林)	⑦					
所 得 金 額 (山 林)	⑦⑤					

→ 貸借対照表を作成していない方にお伺いします。

期末（12月31日）時点の各科目の金額を記入してください。

4-5 資産に該当する勘定科目

科 目	説 明	前 年	本 年					
		期末(12月31日) (円)	期末(12月31日) (円)					
			億	万	千	百	十	一
現 金	農業経営の現金							
預 貯 金 等	農業経営の普通預金、定期預金、積立金、農業経営所有の有価証券、前払金、貸付金							
売 掛 未 収 入 金	売掛金、未収金							
建 物 ・ 構 築 物	農業経営用建物・構築物等の未償却残高							
農 機 具 等	農業用機械等の未償却残高							
果 樹 ・ 牛 馬 等	果樹と牛馬の未償却残高							
土 地	土 地 (貸付地以外)	農業経営用の農地等の固定資産評価額 (土地改良事業受益者負担を含む。)						
	貸 付 地	貸付地の固定資産評価額						

4-6 負債に該当する勘定科目

科 目	説 明	前 年	本 年					
		期末(12月31日) (円)	期末(12月31日) (円)					
			億	万	千	百	十	一
流 動 負 債	買掛金、短期借入金、未払金、前受金、預り金							
うち 買 掛 金	原材料等の購入代金の未払金							
うち 短期借入金	経営のために銀行やJAなどからの借入金のうち返済期限が1年以内に到来する借入金							
長 期 借 入 金	経営のために銀行やJAなどからの借入金のうち返済期限が1年を超える借入金							

【5】投資と資金調達の状況（該当する方のみお答えいただく項目です。）

次のいずれかに該当する方は、1年間の設備投資や借入れについて、記入してください。

- ・青色申告決算書（農業所得用）を利用している方（【1】の1-1⑤が「はい」の方）
- ・年間60日以上自営農業に従事している65歳未満の家族がいる方（【1】の1-1③が「はい」の方）
（青色申告決算書（農業所得用）を利用していない方を含みます。）

事業経営のため、1年間に設備投資や借入れがありましたか。

はい → 本年欄に記入してください。

いいえ → 【6】へお進みください。

5-1 事業経営のため1年間に**設備投資したそれぞれの資産**について、**取得額の合計**を記入してください。
また、記入した金額のうち**農業の占める割合**（農業生産関連事業などの他の事業を除いた割合）を記入してください。

区 分	説 明	前 年		本 年						
		金 額 (円)	農 業 割 合 %	金 額 (円)						
				億	万	千	百	十	一	農 業 割 合 %
建物・構築物	建物・構築物の購入金額									
農 機 具 等	自動車・農機具の購入金額									
果樹・牛馬等	植物・牛馬の購入金額（肥育牛及び中小動物を除く。）									
土 地	土地の購入金額									

5-2 事業経営のため1年間に**借り入れた金額の合計**を**短期・長期別**に記入してください。
また、記入した金額のうち**農業の占める割合**（農業生産関連事業などの他の事業を除いた割合）を記入してください。

区 分	説 明	前 年		本 年						
		金 額 (円)	農 業 割 合 %	金 額 (円)						
				億	万	千	百	十	一	農 業 割 合 %
短 期 借 入 金	返済期限が1年以内の借入金									
長 期 借 入 金	返済期限が1年を超える借入金									

【6】労働の概要（全ての方にお答えいただく項目です。）

1年間に事業に従事した家族、雇用者の人数、農業労働時間についてお伺いします。

以下の設問にある従事者数及び農業労働時間を整理した資料がある場合、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

はい → 10頁の【7】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

6-1 **事業**（農業、農業生産関連事業、林業、不動産業、その他の事業）**に従事した人数**を記入してください。

区 分	前 年	本 年
	事業に従事した人数 (人)	事業に従事した人数 (人)
家 族 (経営主含む。)		
常用雇用者		

【6-1から6-3までの家族、雇用の区分は次のとおりです】

- ・家族： 生計を一にする経営主を含む家族のうち、15歳以上の方を記入してください。
- ・常用雇用者： 期間を定めずに雇用している者又は1か月以上の期間を定めて雇用している者をいいます。
- ・臨時雇用者： 1か月未満の期間を定めて雇用している者又は日々雇用している者をいいます。

- ※1 常用雇用者及び臨時雇用者には、外国人技能実習生及び日本人研修生を含みます。
- 2 酪農ヘルパーなどの派遣労働に係る労働者及びその労働時間は含みません。

6-2 農業に従事した家族の性別、年齢及び1年間の農業労働時間について、一人ずつ記入してください。

区分	前年			本年		
	性別	年齢	年間の農業労働時間(時間)	性別	年齢	年間の農業労働時間(時間)
経営主	男 女			男 女		
家族①	男 女	歳		男 女	歳	
家族②	男 女	歳		男 女	歳	
家族③	男 女	歳		男 女	歳	
家族④	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑤	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑥	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑦	男 女	歳		男 女	歳	
家族⑧	男 女	歳		男 女	歳	

・農業には、世帯として請け負った農作業を含みます。

・年間の農業労働時間は、整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。

(例) 平均労働時間が1日8時間、年間300日働いている場合、 $8 \times 300 = 2,400$ となるため、「2,400」と記入してください。

6-3 農業に従事した雇用者の人数、農業労働時間をそれぞれ記入してください。

(1) 常用雇用者の人数を区分ごとに記入してください。

区分	前年				本年			
	男性(人)	65歳未満(人)	女性(人)	65歳未満(人)	男性(人)	65歳未満(人)	女性(人)	65歳未満(人)
常用雇用者	合計							
	うち7か月以上の雇用者							

(2) 常用雇用者の1年間の農業労働時間を区分ごとに記入してください。

区分	前年	本年
	年間の農業労働時間(時間)	年間の農業労働時間(時間)
常用雇用者	合計	
	うち7か月以上の雇用者	

・農業労働時間：整理した資料若しくは以下の方法などにより算出した値を記入してください。

(例1) 「1人当たりの1日平均労働時間」×「1人当たりの年間の平均従事日数」×「人数」により算出

(例2) 「雇用者に支払った賃金総額(損益計算書の雇人費のうち農業分)」÷「時間(日)当たり単価」により算出

(3) 臨時雇用者の農業に従事した人数及び1年間の農業労働時間をそれぞれ記入してください。

区分	前年	本年
臨時雇用者	農業に従事した人数(人)	
	年間の農業労働時間(時間)	

6-4 研修生の受け入れがあった場合、研修生の人数をそれぞれ記入してください。

区分	前年	本年
	人数(人)	人数(人)
外国人技能実習生		
日本人研修生		

・外国人技能実習生は、外国人技能実習制度に基づき雇用した実習生の人数(実人数)を記入してください。

・日本人研修生は、雇用の有無にかかわらず受け入れた研修生(実人数)を記入してください。

【7】生産概況、農畜産物収入（全ての方にお答えいただく項目です。）

1年間に、販売目的で作付（飼養）した農畜産物の作付延べ面積（飼養頭羽数）、販売金額等についてお伺いします（自家消費のみの目的の場合は除きます。）。

なお、「作付延べ面積」「月平均飼養頭羽数」「生産量」欄には事業用（種子用、飼料用、自家製造加工品の原料用）に消費することを目的に作付（飼養）した農畜産物を含めてください。

また、稲わら以外の副産物を販売した場合は、該当する区分の販売金額に含めてください。

7-1 稲、麦類等

区 分			作付延べ面積、 販売金額 に含めるもの	前 年			
				作付延べ面積（茶は植栽面積）		生産量（kg）	販 売 金 額 （円）
				田（a）	畑（a）		
稲（食用）	水稲	主食用米	主食用				
		加工用米	酒造用、加工用				
		新規需要米等	輸出入、米粉用、備蓄用の合計				
	陸 稲						
稲（飼料用）	飼料用米	自給用を含む。					
	WCS用稲	稲発酵粗飼料用稲（自給用を含む。）					
稲わら・ぬか等			稲わら・ぬか等を販売したものの				
麦類	小 麦						
	二 条 大 麦						
	六 条 大 麦						
	は だ か 麦						
	その他の麦		ライ麦など				
豆類	大 豆	乾燥子実（枝豆等の未成熟野菜）					
	大豆以外		小豆、ささげ、落花生などの乾燥子実				
雑穀	そ ば		そば殻を含む。				
	他の雑穀		とうもろこし、あわ、ひえなどの穀物				
いも類	か ん し ょ		種いも用、原材料かんしょを含む。				
	ば れ い し ょ		種いも用、原材料ばれいしょを含む。				
工芸農作物	て ん さ い						
	さ と う き び						
	茶		作付面積は植栽面積 生産量は荒茶換算				
	その他工芸農作物		なたね、い草、葉たばこなど				
その他	飼料用作物		牧草、デントコーン等、飼料用を目的に作付した作物の合計（自給用を含む。）				
	その他の作物		芝、苗、苗木、栽培きのこ類など				

以下の設問にある1年間の生産概況を整理した資料がある場合は、整理した資料の写しを提供していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけませんか。

はい → 16頁の【8】へお進みください。

いいえ → 本年欄に記入してください。

7-1 稲、麦類等

区 分			本 年													
			作付延べ面積（茶は植栽面積）						生産量（kg）			販売金額（円）				
			田（a）			畑（普通畑）（a）										
			ha	a		ha	a		億	万	千	百	十	一		
稲（食用）	水稲	主食用米														
		加工用米														
		新規需要米等														
	陸 稲															
稲（飼料用）	飼料用米															
	WCS用稲															
稲わら・ぬか等																
麦類	小 麦															
	二 条 大 麦															
	六 条 大 麦															
	は だ か 麦															
	その他の麦															
豆 類	大 豆															
	大豆以外															
雑 穀	そ ば															
	他の雑穀															
いも類	か ん し ょ															
	ば れ い し ょ															
工芸農作物	て ん さ い															
	さとうきび															
	茶															
	その他工芸農作物															
その他	飼料用作物															
	その他の作物															

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

7-2 野菜

区 分	前 年				
	品 目		作付延べ面積		販売金額 (円)
	コード	品 目 名	露地 (a)	施設 (m ²)	
露地野菜					
		その他の露地野菜			
施設野菜					
		その他の施設野菜			

7-3 果樹

区 分	前 年				
	品 目		作付延べ面積（植栽面積）		販売金額 (円)
	コード	品 目 名	露地 (a)	施設 (m ²)	
果 樹					
		その他の果樹			

7-2 野菜

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の露地野菜】
【その他の施設野菜】にまとめて記入してください。

区 分	品目 〔生産した野菜の品目コード又は品目名 を記入してください〕		本 年				販売金額 (円)					
	コード	品目名	作付延べ面積		施設 (m ²)							
			露地 (a)		施設 (m ²)		億	万	千	百	十	一
		ha	a	m ²	m ²							
露 地 野 菜												
		その他の露地野菜										
施 設 野 菜												
		その他の施設野菜										

野菜の品目はこちらから選択してください。

01	だいこん	04	キャベツ	07	ねぎ	10	なす	13	ピーマン
02	にんじん	05	ほうれんそう	08	たまねぎ	11	大玉トマト		
03	はくさい	06	レタス	09	きゅうり	12	ミニトマト		

7-3 果樹

販売金額の多い順に記入してください。

品目記入欄に書ききれない品目及び品目コードに該当しない品目の作付面積・金額は【その他の果樹】にまとめて記入してください。

区 分	品目 〔生産した果樹の品目コード又は品目名 を記入してください〕		本 年				販売金額 (円)					
	コード	品目名	作付延べ面積 (植栽面積)		施設 (m ²)							
			露地 (a)		施設 (m ²)		億	万	千	百	十	一
		ha	a	m ²	m ²							
果 樹												
		その他の果樹										

果樹の品目はこちらから選択してください。

51	りんご	54	露地ぶどう	57	もも	60	おうとう	63	くり
52	露地温州みかん	55	施設ぶどう	58	かき	61	すもも	64	キウイフルーツ
53	施設温州みかん	56	日本なし	59	うめ	62	びわ	65	パインアップル

【7】生産概況、農畜産物収入（続き）

7-4 花き

区 分	作付延べ面積、販売金額 に含めるもの	前 年		
		作付延べ面積		販 売 金 額 (円)
		露地 (a)	施設 (m ²)	
露 地 花 き	露地で生産する鉢植えの花木を含む。			
施 設 花 き	施設で生産する鉢植えの花木を含む。			

7-5 畜産物

区 分	飼養頭羽数、生産量 に含めるもの	販売金額 に含めるもの	前 年		
			飼養頭羽数、 生産量	販売頭羽数	販 売 金 額 (円)
酪 農	生乳生産量 (年間)	自家で飼養する乳牛から搾 乳して生産したもの	生乳	kg	
	搾乳牛	搾乳牛(乾乳中の牛を含 む。)の 月平均飼養頭数		頭	
	自家生産乳牛等		自家で生産した乳牛(F1、 ETを含む。)、搾乳用育成 牛		頭
肉 用 牛	繁殖雌牛	繁殖用の和牛雌牛の 月平均 飼養頭数		頭	
	自家生産 和牛等		自家で生産した子牛(和子牛・ F1クロス牛)、自家で生産して 繁殖用に育った牛		頭
	肉専用種	肉専用種の牛(他家から購入し て育成または肥育した牛、自家 で生産して肥育した牛)の 月平均 飼養頭数	肉専用種の牛(他家から購入し て育成または肥育した牛、自家 で生産して肥育した牛)の合計	頭	頭
	乳用種	乳用種の牛(他家から購入し て育成または肥育した牛、自家 で生産して肥育した牛)の 月平均 飼養頭数	乳用種の牛(他家から購入し て育成または肥育した牛、自家 で生産して肥育した牛)の合計	頭	頭
	交雑種	交雑種の牛(他家から購入し て育成または肥育した牛、自家 で生産して肥育した牛)の 月平均 飼養頭数	交雑種の牛(他家から購入し て育成または肥育した牛、自家 で生産して肥育した牛)の合計	頭	頭
養 豚	繁殖雌豚	繁殖用の豚の 月平均飼養頭 数		頭	
	肥育豚	肥育用の豚の 月平均飼養頭 数		頭	
	肉 豚		肉豚、廃用豚のうち販売し た豚		頭
	子 豚		肥育用・繁殖用子豚		頭
採卵養鶏	飼養羽数	採卵鶏(うずらを除く。) の 月平均飼養羽数		羽	
	鶏卵生産量 (年間)	採卵鶏から生産される卵 (販売した不正常卵を含 む。)	採卵鶏から生産される卵 (販売した不正常卵を含 む。)、廃鶏	kg	
ブロイラー養鶏		ブロイラー、ブロイラー雛 (地鶏を除く。) 年間販 売羽数	ブロイラー、ブロイラー雛 (地鶏を除く。)		羽
その他 畜産	きゅう肥 (ふん尿)		きゅう肥として販売したも の(自給肥料としたもの以 外)		
	その他		地鶏、綿羊、うずら、や ぎ、養蚕、養蜂等		

7-4 花き

区 分	本 年										
	作付延べ面積					販 売 金 額 (円)					
	露地 (a)		施設 (m ²)								
	ha	a	m ²			億	万	千	百	十	一
露 地 花 き											
施 設 花 き											

7-5 畜産物

区 分	本 年										
	飼養頭羽数 (月平均)、 生産量 (年間)			販売頭羽数 (年間)			販 売 金 額 (円)				
	万 千 百 十 一 (単位)			万 千 百 十 一 (単位)			億 万 千 百 十 一				
酪 農	生乳生産量 (年間)		kg								
	搾乳牛		頭 (月平均)								
	自家生産乳牛等			頭							
肉 用 牛	繁殖牛	繁殖雌牛		頭 (月平均)							
		自家生産和牛等			頭						
	肥育牛	肉専用種		頭 (月平均)	頭						
		乳用種		頭 (月平均)	頭						
		交雑種		頭 (月平均)	頭						
養 豚	繁殖雌豚		頭 (月平均)								
	肥育豚		頭 (月平均)								
	肉 豚			頭							
	子 豚			頭							
採卵養鶏	飼養羽数		羽 (月平均)								
	鶏卵生産量 (年間)		kg								
ブロイラー養鶏						羽					
その他畜産	きゅう肥 (ふん尿)										
	その他										

【8】 農作業受託収入（全ての方にお答えいただく項目です。）

農作業受託についてお伺いします。

1年間に農作業受託収入がありましたか。

はい → 本年金額欄に記入してください。

いいえ → 【9】へお進みください。

前年金額（円）	本年金額（円）				
	億	万	千	百	十

【9】 制度受取金・積立金等（全ての方にお答えいただく項目です。）

制度受取金・積立金等についてお伺いします。

1年間に農業に関する制度受取金・積立金等がありましたか。

はい → 次の設問へお進みください。

いいえ → 調査は終了になります。

（右頁に続きます。）

名称等	チェック		前年金額	
	受取	積立	制度受取金等（円）	制度積立金等（円）
共通	農業共済			
	収入保険			
	多面的機能支払交付金・農地維持支払			
	多面的機能支払交付金・資源向上支払			
	中山間地域等直接支払交付金			
	肥料価格高騰対策事業			
	施設園芸等燃油価格高騰対策			
水田・畑作	畑作物の直接支払交付金			
	水田活用の直接支払交付金			
	米・畑作物の収入減少影響緩和対策交付金			
	国内麦流通円滑化特別対策事業			
野菜	指定野菜価格安定対策事業			
	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業			
茶	茶・薬用作物等支援対策			
果樹	果樹経営支援対策事業			
	果樹未収益期間支援事業			
畜産	配合飼料価格安定制度			
	酪農経営支援総合対策事業			
	肉用子牛生産者補給金			
	肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）			
	肉用牛経営安定対策補完事業			
	肉豚経営安定交付金（豚マルキン）			
	鶏卵生産者経営安定対策事業			
	配合飼料価格高騰緊急特別対策			
その他	上記以外の制度受取金・積立金等			
合計				

内訳の記入が難しい場合は、「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入してください。

以下の設問にある制度受取金・積立金等を整理した資料の写しを提出していただくことにより記入に代えることが可能です。資料を提供していただけますか。

- はい** → 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けていただき、調査は終了になります。
- いいえ** → ① 1年間に受け取った受取金、又は、拠出した積立金の欄にチェック☑を付けてください。
 ② 受け取った金額を「制度受取金等」欄に、支払った金額を「制度積立金等」欄に記入してください。
 なお、内訳の記入が難しい場合は、下段の「上記以外の制度受取金等」、「合計（制度受取金等）」及び「合計（制度積立金等）」欄を記入してください。

名称等	チェック		本年金額			
	受取	積立	制度受取金等 (円)		制度積立金等 (円)	
			億	万 千 百 十 一	億	万 千 百 十 一
共通	農業共済					
	収入保険					
	多面的機能支払交付金・農地維持支払					
	多面的機能支払交付金・資源向上支払					
	中山間地域等直接支払交付金					
	肥料価格高騰対策事業					
	施設園芸等燃油価格高騰対策					
水田・畑作	畑作物の直接支払交付金					
	水田活用の直接支払交付金					
	米・畑作物の収入減少影響緩和対策交付金					
	国内麦流通円滑化特別対策事業					
野菜	指定野菜価格安定対策事業					
	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業					
茶	茶・薬用作物等支援対策					
果樹	果樹経営支援対策事業					
	果樹未収益期間支援事業					
畜産	配合飼料価格安定制度					
	酪農経営支援総合対策事業					
	肉用子牛生産者補給金					
	肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）					
	肉用牛経営安定対策補完事業					
	肉豚経営安定交付金（豚マルキン）					
	鶏卵生産者経営安定対策事業					
	配合飼料価格高騰緊急特別対策					
	国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策					
その他	上記以外の制度受取金・積立金等					
合計						

内訳の記入が難しい場合は、「上記以外の制度受取金」、「合計」欄を記入してください。

調査は以上です。ご協力、ありがとうございました。